

相手を思いやる心を育む — 高齢者施設との交流

秋風が心地よい季節となりましたが、日中はまだ暑さが残る日が続いています。9月3日、3～6年生が地域の高齢者福祉施設を訪問しました。子どもたちは、事前に「どうすれば喜んでいただけるか」を考え、交流の内容や発表の仕方について話し合いました。当日は、少し緊張した表情で会場に入った子どもたちでしたが、施設の関係者の皆さんも含め多くの人に迎えられ、やる気の顔に切り替わりました。学校生活の紹介では、行事の様子を写真とともに伝えました。

伝統の「伊自良十六拍子」については、なぜ、「伊自良十六拍子」があるのか、伊自良湖との関係等しっかりと伝えることができました。今回は、寄せ太鼓を披露しましたが、響き渡る太鼓の音に目を輝かせて見てくださり、会場と一体となる瞬間がありました。合唱では、子どもたちの元気な歌声に大きな拍手をいただきました。「風船渡しゲーム」でも、風船を落とさないように優しくやり取りする姿があり、温かいひと時を過ごしました。人を笑顔にするために自分の力を発揮する経験は、子どもたちにとって何よりの学びになりました。



伊自良地区音楽祭 — 合唱で広がるハーモニー

伊自良校区3校合同の音楽祭が花咲きホールで行われました。伊自良南北小学校合同の5年生、6年生が合唱を披露しました。これまでの合同授業で先生方に指導していただいたことを発揮して、美しい歌声を花咲きホールいっぱいに響かせることができました。もちろん、中学生の合唱も「心躍る音楽 動き出す伊自良」のテーマのごとく、心を打つ素晴らしい合唱でした。素敵なホールで、立派な中学生の姿、そして、仲間と心を合わせてハーモニーを奏でるそんな音楽の素晴らしさを全身で感じることができました。

岐阜地方気象台の見学 — 交流・体験・挑戦を通して

9月22日には、全校みんなで路線バスを乗り継いで、岐阜地方気象台へ行ってきました。今年度も取り組んでいる防災シリーズ学習「私が守る 私たちの伊自良」の取組の1つです。いつ、どこで何が起きるか分からない時代に、自分で考えて行動する力をつけるためにあえて路線バス乗車です。岐阜地方気象台では、どのように天気の情報を得て予報を発信しているかを教えていただきました。この日は、済美高校の部屋を借りてお弁当を食べ、済美高校の中を見学させていただきました。義務教育の先の学校や進学について知るきっかけになりました。9月は、交流・体験・挑戦を通して、子どもたちがまた1つ成長した月となりました。小規模校の強みは、一人一人が主体的に学ぶことができ、豊かな体験を積み重ねることができることです。これらの体験は豊かな学びとなり、子どもたちの心に確かな力となって息づいていくと考えています。



北小フリー参観日のお知らせ

10月3日(金)は、8時から14時まで、伊自良北小フリー参観日です。校舎南側の児童玄関より、お入りください。また、13時～13時20分まで、学校歯科医の奥田先生の「お口の健康」についての講話がありますので、地域の皆様もぜひご参加ください。

伊自良北小学校の

ホームページはこちらから！

「子どもたちの輝き2025」へ

